



今年度の研究計画

3年継続の2年目です

これまでの研究主題

- 2000～2001 年度 「選択授業で使える実験ネタ」の開発
- 2002～2003 年度 「選択学習と必修理科との連携・系統化」
「新指導要領と教科書の検討」
- 2004～2011 年度 「わかる楽しい授業づくり」
- 2012～2019 年度 「観察・実験方法と教材・教具の見直し」
- 2020～2022 年度 「深い学びを促す指導」 ※コロナにより3年計画に変更

2021 年度の研究計画

研究の主題 「 深い学びを促す指導 」

～ 効果的な教材・教具と授業展開 ～

研究仮説

観察・実験を通した科学的な体験を行うことが難しい現在の状況を踏まえ、授業展開や教材・教具を工夫し、様々な手立てを講じることにより、科学的な知識や概念が定着し、科学的に調べる能力や自然を探究しようとする能力を育成することができる。

研究方法

①観察・実験方法の見直し

- ・生徒が理解しにくい部分を中心に観察、実験方法の開発や改善などの研究を進める
(新しいものにこだわらない。以前から行われている観察、実験についても検証する)

②教材・教具の見直し

- ・生徒が理解しにくい部分を中心に教材・教具（装置・器具）の開発や改善などの研究を進める
(新しいものにこだわらない。以前から利用されている装置・器具についても検証する)

③課題のある学習内容をいかに授業展開すべきか

- ・実験が上手くいかない、生徒が理解しにくいなど、指導上の課題が残っている学習内容や、生徒が自ら探求し課題解決する授業など、生徒の深い学びにつながる授業をどう展開すべきかを研究する。

④「主体的・対話的な学習活動」を取り入れ、いかに授業展開すべきか

- ・課題を解決するために、説明・論述等の活動を取り入れ、生徒の思考力・判断力・表現力等を伸ばす授業をどう展開すべきかを研究する

※ ①～③は、レポート交流や分科会の発表を中心に研究を進めます。

「深い学びを促す、効果的な指導」の部分は、ICT機器の活用や、自ら進んで学びを深められるような内容に焦点化した指導方法やアクティブラーニングの観点を盛り込んだ内容で研究を推進していく。

※ ④については、公開授業の中で交流をはかり研究を進めます。

市町村単位の公開授業の中でも「主体的・対話的な学習活動」を意識した研究を推進していく。さらに組織的に授業づくりを行い（プレ研や授業研など）、効果的な研究を行う。

今年度の研究内容

- ① 観察・実験方法の見直し
- ② 教材・教具の見直し
※今後の不足の事態に備えるとともに、GIGA スクール実現に向けて学校に対する支援が充実してきていることを受け、紙媒体のレポートまたは作成したデジタルコンテンツを持ち寄り、管内の中学校理科の充実につなげる。
- ③ 課題のある学習内容の研究を継続
※ 生徒が自ら探求し、深い学びが得られる授業展開の方法および工夫点。
- ④ 「主体的・対話的な学習活動」を取り入れた授業の研究
※ コロナ前と同様、レポート課題とせず公開授業で研究を進める。

昨年度はコロナウィルスの影響で、実技研修会や二次研究協議会について開催不可能との判断になったこと、GIGA スクール構想が徐々に進み学校の学びが変わろうとしていることを受け、部会員の皆様のスキルアップにつながる取組をと事務局では考え進めてまいりました。部会員の皆様におかれましても多忙を極める状況だったと思いますが、たくさんのコンテンツの提出をいただいたこと感謝しております。ご理解ご協力本当にありがとうございました。

今年度につきましても、現段階では従来通りの授業公開ができるかは未定です。したがって、研究計画に入っているものでも、特に公開授業の中で深めていく部分についてはどのように進めていくのが望ましいのか、まだ何とも言えない状況です。今年度も、コロナウィルスの蔓延状況等を踏まえながら、「今、私たちにできること」を探しながら研究を進めていきたいと考えています。

今後の予定

- | | | |
|-----|-------------|---|
| 4月 | 各市町村研究協議会 | 今年度の研究について周知・確認 |
| 5月 | 推進委員研究協議会 | 各市町村研究協議会の結果報告、今後の予定について
レポートタイトルの集約 |
| 8月 | 各市町村研究協議会 | レポート集約 |
| 10月 | 専門部会2次研究協議会 | (中心サークル：石狩) |

今年度はフィールドワーク等の実技研修会は計画しておりません。昨年度同様、必要に応じて別途研修会を検討したいと考えています。

3年計画の2年目となりますが、コロナウィルスの終息が予測できないことから、昨年度同様上記②の教材・教具の見直しを軸に研究を進めていきたいと考えています。また、実技研修会については中止、管内二次研究協議会についても今後の社会情勢を踏まえてお知らせをしていくことになるものと考えます。部会員の皆様には何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、今年度もご理解とご協力をよろしくお願い致します。